

J-クレジット制度管理者 御中

実績確認概要書

平成 29 年 2 月 20 日

審査機関名 ビューローベリタスジャパン株式会社

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	琉球大学における二酸化炭素排出量削減事業計画 (照明設備の更新、太陽光発電設備の導入、変圧器の更新)
プロジェクト番号	KC0353
排出削減事業者名	国立大学法人 琉球大学
排出削減共同実施事業者名	カーボンフリーコンサルティング株式会社 (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	(住所：沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地)
事業の概要	本事業は、琉球大学における太陽光発電設備の導入、変圧器の更新によりエネルギー消費量を削減、CO ₂ 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2010 年度 151tCO ₂ /年 2011 年度 122tCO ₂ /年 2012 年度 107tCO ₂ /年 (国内クレジット制度 事業実施期間合計 380tCO ₂) 2013 年度 158tCO ₂ /年 2014 年度~2017 年度 153tCO ₂ /年 (J-クレジット制度 事業実施期間合計 770tCO ₂)
クレジット 認証期間	開始日 2010 年 4 月 1 日 終了予定日 2018 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 008「太陽光発電設備の導入」 方法論番号 010「変圧器の更新」

2. 本実績確認の対象期間

2013 年 4 月 1 日~2016 年 3 月 31 日 (第 4 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	250tCO ₂ (2013年4月1日～2016年3月31日)
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 4回目のため該当なし。 2) 対象期間中の設備稼働確認 導入された太陽光発電設備および更新された変圧器は実績確認期間中、継続的に稼働していることを関係者への質問、電力モニターデータや検針値で確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 関係者への質問、電力モニターデータや検針値の確認により、方法論及び承認排出削減計画に沿ってモニタリングが実施されていたことを確認した。 2) 活動量の正確性 関係者への質問、電力モニターデータや検針値の確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、正確に集計されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 使用されている排出係数等が、Jクレジット制度モニタリング・算定規定（排出削減プロジェクト用）Ver.2.6及び承認排出削減計画に従っていることを確認した。 4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果を根拠資料と突合、方法論の定めた計

	算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。
算定期間が移行期間内であること	本実績確認の対象期間は、2013年4月1日から2016年3月31日までであり、排出削減量を算定した期間が2018年3月31日を超えないことを確認した。

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）

今回の検証において承認排出削減事業計画からの重要な変更点に該当する事象はなかった。

6. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネルギー量について、原油換算 18.3(kl)であることを確認した。また、再生可能エネルギー利用量について 376,960.6(kWh)であることを確認した。

プロジェクト計画の変更により、照明設備の更新が実績報告対象から削除された。

従って、本実績報告書における排出削減量に照明設備の更新は入っていない。

前回の排出削減量（照明設備の更新分を除く）に対する今回の排出削減量の変化は 21%あり、この乖離の理由は太陽光発電量の増加と、電力の CO2 排出係数が大きくなったことによるものである。

以上